

## 1 解釈

一人で静かに遊んでいたのに、高く積み上げた積み木をほめてもくれず、ウイリーがこわしてうるさい音をたてたのに、自分を叱ってくるお母さんへの不満、自分の物だったゆりかごや食堂いす、赤ちゃんベッドを次々にピンクのペンキで勝手に塗ってしまい、ペンキぬるの手伝ってくれないかというお父さんへの不満。ちっちゃいときにすわったまだペンキがぬってないいすは、最後の砦のようなものである。そのいすをもって家出するのは、まだ赤ちゃんのままでいたい、両親の愛情を独り占めしていたいという思いからの両親への精いっぱい抵抗だった。しかし、家出までしてピンクに塗られないようにと守ったいすにおしりが入らないことが判明して、ピーターは愕然とする。こんなに体は大きくなっているのに、心は赤ちゃんのままだと思い知った。そこで、今までとは違った方法で家に帰り、スージーのお兄ちゃんとして家族の一員に認めてもらおうと考えた。おとうさんがそばにすわった瞬間が、認めてもらった瞬間である。そこで初めて、ピーターは「おとうさん、あのちっちゃんいす、スージーのためにピンクにぬろうよ」。とすることができたのである。一場面ではおとうさんの頼みを無視していたことを、自分から勧誘するほどに意欲的な態度に変わったのだ。

## 2 いいことの内容

ピーターの考えたいいこととは、何だろうか。

だれにとっていいことなのか。この場合の「いいこと」とは、ピーターにとっていいこと。決して道徳的な善悪ではない。ピーターにとっていいことって何。と考えると、ピーターの望みはなにかになる。ピーターはもう、青い椅子をピンクのペンキから守る必要はなくなった。家には帰りたい。でも、家には妹のスージーがいる。

「かえっといで。」と促されて、ごちそうにつられて帰るなんて、みっともない。もう、前の自分とは違うんだ。また、お父さんは、大人扱いして歩み寄ってくれるか確かめたい。それを確認したら、言われてやるのではなく、自分から椅子をピンクに塗ろうと言いつつ、お父さんと一緒に塗ろう。新しい妹スージーのために。

このような、いすをピンクに塗るまでのストーリーを考えたのではないだろうか。ピーターの考えた「いいこと」とは、お父さんといすを塗るまでのストーリーである。

聞こえないふりをした、目的は何か。

聞こえないふりをしたのは、いいことを考えたのでそれを実行するためである。

1 家にこっそり帰る。

2 いままでとは違ういたずらをしてお母さんの反応をみる。

3 おとなのいすにすわってお父さんの反応をみる。

4 お母さんもお父さんも、前と変わらず家族の一員として出迎えてくれることを確認する。

5 いすを妹のスージーのためにピンクにぬろうと言いつつ。

6 おとうさんと共同でいすをぬること。

こうしたことを考えたのは、⑮と⑯の間と考える。ピーターは、ちっちゃいときにすわったいすには、もうおしりが入らないことが分かって予想外の事態に動揺しただろう。おしりが入らないこ

とに気が付かないぐらい、このごろはこの青い椅子に座っていなかったのに、妹にとられるとわかったとたん座れもしない椅子をもって家出するなんてみっともない。でも、お母さんもお父さんも、赤ちゃん赤ちゃんばかりで、自分のことをほったらかしているからついこんな家出したんだ・・・と、いろいろ考える時間がここであったと思われる。

### 3 追求課題

おとうさん、あの ちっちゃな いす、スージーの ために ピンクに ぬろうよ。(展開の核)

○ピーターは、どこからあのいすをピンクにぬろうと思いだめたか。(追求課題 対立問題)

A:「ところが、おしりが いすに 入らない。ピーターは、大きくなりすぎていたんだ。」のとき

B:「ピーターは、おとなの いすに すわった。おとうさんが、そばに すわった。」とき。

対立問題解決のための他の問題

「あの ちっちゃな いす」の「あの」って、何。

「スージーのために」って、どういうこと。

「ぬろうよ」と言おうと思ったのは、いつどの段落か。

ぬりたくないと思っていたのは、どの段落までか。

<問題1> 「あの ちっちゃな いす」の「あの」って、何をさすのか。

ピンクに塗ったベッドの近くにあった「ピーターのちっちゃいときにすわったいす」

「あれは、まだぬってないぞ。」大声をあげて持ち上げて自分のへやへかけてったいす。

家出するときにもって出たいす。

家の前にきちんとならべてしばらくすわっていようとしたいす。

ところが、おしりが入らなかったいす。

<問題2>

あのいすをピンクにぬりたくないと思ったのはいつか。また、いつまで思っていたか。どの段落までか。

→「あれは、まだ、ぬってないぞ。」といすを見つけたとき⑬まで。

<問題3>

あのいすを、「ピンクにぬろうよ。」と言おうと思ったのはいつか。

→いいことを考えたとき、⑮の後。「おとうさんが、そばに すわった。」ときは、計画通りのタイミングになって言った。

あのいすを、ピンクにぬりたくないから、ピンクにぬろうよに変わった原因はどこにあるのか。

→「ピーターは、おとなの いすに すわった。おとうさんが、そばに すわった。」

<イメージの拡大>

家出していたはずらピーターのそばにわざわざすわるってどういうことか。

→家出したピーターを許し、大人のいすにすわることを認めるということ。家族の一員である。

追求課題の解決

→「ピーターは、おとなの いすに すわった。おとうさんが、そばに すわった。」

おとなのいすにすわったピーターのそばに、わざわざおとうさんがすわったことで、ピーターは家族の一員として認められたことを確認できた。それで、家族の一員として、スージーの兄として、スージーに役立つことをしようとした。

4 展開案

主な発問と核となる言葉	学習活動	指導上の留意点
<p>1 疑問・問題の提出</p> <p>○ピーターの「変だ」「おかしい」という行動はどこか？</p> <p>2 問題づくりと追求</p>	<p>○おとなのいすにすわった</p> <p>○あのちっちゃないすぴんくにぬろうよ。</p> <p>中心人物が、一番変わったところや、変だ、おかしいと思うところを話し合う。</p>	<p>二場面で「あれは、まだ、ぬってないぞ。」と大声をあげて、いすを持ち上げて自分のへやへかけてったことを想起させ、②段落の言葉が前と大きく変わっていることを浮き彫りにする。</p>
<p>問題：自分で守ろうとまでした青いいすなのに、なぜ、「おとうさん、あのちっちゃないす、スージーのために、ピンクにぬろうよ。」と言ったのか。</p>		
<p>ぬろうよ</p> <p>○どういう意味か</p> <p>～すぎ</p>	<p>⑭ピーターのおしりがいすにはいらなから。</p> <p>⑮ピーターは大きくなりすぎていたから。</p>	<p>ピーターは、いすに座れると思っていたか、いないか。</p> <p>いすにすわれなくて、ピーターは、悲しいか、それ以外か。</p> <p>ここで、「問題できない？」と問いかける。</p>
<p>⑮でいすにおしりが入らないとわかったら、家出を止めてすぐ帰ればいいのに、なぜ帰らないの？</p> <p>どこからいすをぬろうと思いだめたのか</p>		
<p>ふり</p> <p>かんがえたんだ</p>	<p>1 いいことを考えたから。</p> <p>2 それ以外</p>	<p>聞こえているのに聞こえないふりをするのは目的がある。</p>
<p>ピーターが考えたいいことって何だろう？</p>		
<p>1 今までとはちがうことをやる。</p> <p>2 いたずらをする事。</p> <p>3 いすをぬること。</p>		<p>ピーターの考えた「いいこと」</p> <p>とは、お父さんといすをぬるまでのストーリー（作戦）である。</p>
<p>あのいすを、「ピンクにぬろうよ。」と言おうと決断したのはいつか。</p>		
<p>おとな</p> <p>おとなのいすにすわったってどういうこと？</p> <p>そば</p> <p>そばにすわるとは。どういうことか。</p>	<p>⑮か⑳か</p>	<p>「おとなのいす」にすわったピーターのそばに、わざわざおとうさんがきてすわったかの意味を話し合う。</p> <p>もち上げてじぶんのへやへかけてったことはおとうさんは</p>

あのいす	おとうさんとピーターの共通の話題である「あのいす」とは、どのいすか。	知っていることを確認する。
<p>追求課題の解決</p> <p>→「ピーターは、おとなの いすに すわった。おとうさんが、そばに すわった。」</p> <p>おとなのいすにすわったピーターのそばに、わざわざおとうさんがすわったことで、ピーターは家族の一員として認められたことを確認できた。それで、家族の一員として、スージーの兄として、スージーに役立つことをしようとした結果、いすを、スージーのためにピンクに塗ろうよと言った。</p>		
		初めのイメージの変化を話し合う。